

著作関係者

| | | | | | | | |
|-------|------------------|----------|-------|------------------|-------|------------------|--|
| 代表 | 北 俊夫 | 前国士館大学教授 | 小原 友行 | 福山大学教授 | | | |
| | 加藤 寿朗 | 島根大学教授 | 唐木 清志 | 筑波大学教授 | 木村 博一 | 広島大学大学院教授 | |
| 阿久津 理 | 富山大学附属小学校教諭 | | 今野日出晴 | 岩手大学教授 | 藤瀬 泰司 | 熊本大学准教授 | |
| 浅野 正道 | 東京都あきる野市立草花小学校校長 | | 齋藤 淳 | 福岡教育大学附属福岡小学校教諭 | 星野 勇悟 | 大阪府大東市立四条小学校教諭 | |
| 荒木 逸治 | 熊本県熊本市立向山小学校校長 | | 左海 克彦 | 大阪府大阪市立城東小学校校長 | 前田 賢次 | 北海道教育大学札幌校准教授 | |
| 飯塚 博恭 | 大阪府大阪市立北中道小学校校長 | | 坂井 清隆 | 福岡教育大学教職大学院講師 | 松尾 鉄城 | 女子栄養大学短期大学部特任教授 | |
| 石崎 厚史 | 大阪府大阪市立野田小学校校長 | | 佐久間敦史 | 大阪教育大学准教授 | 松本 康 | 信州大学教授 | |
| 井手 司 | 福岡教育大学附属福岡小学校教諭 | | 櫻井 正義 | 東京都東久留米市立本村小学校教諭 | 溝口 和宏 | 鹿児島大学大学院教授 | |
| 井手 なぎ | 西南学院小学校教諭 | | 佐藤 修 | 宮城県登米市立登米小学校教諭 | 宮崎 沙織 | 群馬大学准教授 | |
| 伊藤 貴啓 | 愛知教育大学教授 | | 佐藤 拓郎 | 宮城教育大学附属小学校教諭 | 村井 政一 | 石川県野々市市立野々市小学校教諭 | |
| 今村 吾朗 | 東京都杉並区立高円寺中学校教諭 | | 澤 直也 | 広島県広島市立みどり坂小学校教諭 | 安武 将広 | 岡山県岡山市立福田小学校教諭 | |
| 井村 章子 | 大阪府大阪市立聖和小学校教諭 | | 沢畑 慶介 | 東京都江東区立越中島小学校教諭 | 山田 一人 | 熊本県熊本市立託麻南小学校教諭 | |
| 梅澤 真一 | 筑波大学附属小学校教諭 | | 新貝 朗 | 東京都江東区立第二辰巳小学校校長 | 山田 秀和 | 岡山大学大学院准教授 | |
| 江間 史明 | 山形大学教授 | | 須本 良夫 | 岐阜大学教授 | 山家 哲雄 | 東京都世田谷区立三宿小学校教諭 | |
| 大木 直之 | 東京都江東区立第七砂町小学校教諭 | | 瀬古 雅大 | 石川県金沢市立諸江町小学校教諭 | 横田 富信 | 東京都世田谷区立経堂小学校教諭 | |
| 大滝 淳子 | 東京都中野区立桃園小学校教諭 | | 田内 利美 | 東京都世田谷区立等々力小学校教諭 | 吉井 大輔 | 埼玉県鶴ヶ島市立新町小学校教諭 | |
| 太田 満 | 共栄大学講師 | | 谷口 将紀 | 東京大学大学院教授 | 吉岡 泰志 | 東京都世田谷区立経堂小学校教諭 | |
| 岡崎 誠司 | 富山大学教授 | | 多和田雅保 | 横浜国立大学教授 | 吉藤 玲子 | 東京都台東区立忍岡小学校校長 | |
| 岡田 梓 | 京都府京都市立大宮小学校教諭 | | 忠谷 嘉人 | 京都府京都市立上賀茂小学校教諭 | 吉水 裕也 | 兵庫教育大学大学院教授 | |
| 岡田 英三 | 岡山県岡山市立御野小学校嘱託教諭 | | 月岡 正明 | 東京都世田谷区立等々力小学校校長 | 吉村 潔 | 東京都世田谷区立烏山北小学校校長 | |
| 岡田 泰孝 | お茶の水女子大学附属小学校教諭 | | 豊嶋 啓司 | 福岡教育大学教授 | 渡邊 将勝 | 岡山県岡山市立福島小学校教諭 | |
| 岡本 典久 | 広島県広島市立春日野小学校教諭 | | 豊田 雅弘 | 大阪府大阪市立成育小学校校長 | | | |
| 小澤 靖子 | 東京都多摩市立貝取小学校教諭 | | 中楯 浩太 | 東京都世田谷区立等々力小学校教諭 | | | |
| 粕谷 昌良 | 筑波大学附属小学校教諭 | | 中田 正弘 | 帝京大学大学院教授 | | | |
| 川口 広美 | 広島大学大学院准教授 | | 中山 京子 | 帝京大学教授 | | | |
| 木本 武志 | 東京都板橋区立板橋第十小学校教諭 | | 西川 京子 | 福山平成大学准教授 | | | |
| 清末 泰成 | 宮城県白石市立白石第一小学校教諭 | | 野村 豊 | 金沢大学特任教授 | | | |
| 桐谷 正信 | 埼玉大学教授 | | 芳賀 航 | 宮城県仙台市立長命ヶ丘小学校教諭 | | | |
| 熊谷 嘉文 | 宮城県南三陸町立志津川小学校教頭 | | 柱谷 元紀 | 京都府京都市立安井小学校教諭 | | | |
| 小国 喜弘 | 東京大学大学院教授 | | 林 敬介 | 石川県内灘町立鶴ヶ丘小学校教諭 | | | |
| 兒玉 修 | 宮崎大学名誉教授 | | 平松 義樹 | 愛媛大学教授 | | | |
| 後藤 陽子 | 大阪府大阪市立大江小学校教諭 | | 廣岡 正昭 | 園田学園女子大学教授 | | | |
| 小松 里実 | 東京都あきる野市立草花小学校教諭 | | 藤尾 治仁 | 大阪府大阪市立大江小学校校長 | | | |

● 特別支援に関する校閲

| | |
|-------|----------|
| 田中 良広 | 帝京平成大学教授 |
|-------|----------|

● バリアフリーに関する校閲

| | |
|-------|---------|
| 徳田 克己 | 筑波大学教授 |
| 西館 有沙 | 富山大学准教授 |
| 水野 智美 | 筑波大学准教授 |

● 色彩デザインに関する編集協力

色覚問題研究グループぱすてる

2年度用『新しい社会』については、Webページでもご紹介しています。こちらからご覧ください。

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/shakai/>



東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7365 (社会編集部) Fax:03-5390-6015
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 教育情報サイト 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

新しい社会

東京書籍



この資料は、2年度用小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書宣伝行動基準」に則っております。



2年度
小学校

内容解説資料



もくじ

編集の基本方針..... 1

特色 ①
「調べて、考えたくなる」教科書..... 2

特色 ②
「社会とかかわる」子供を育てる教科書... 8

特色 ③
「主体的に、楽しく学ぶことができる」
教科書..... 10

今日的課題に関する内容が充実.....14

多様な学びを実現する手立て..... 16

豊富な教材と使いやすさへの配慮..... 18

● 3年の特色..... 20

● 4年の特色..... 21

● 5年の特色..... 22

● 6年の特色..... 24

教科書に登場する主な事例地..... 26

「学習者用デジタル教科書」のご案内、
「指導者用デジタル教科書(教材)」のご案内、
充実した教師用指導書..... 28

代表者のことば

教科「社会科」の役割を果たしたい

教育の目的は一人の人間として人格の完成を目指すとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養うことにあります。よき国づくり、社会づくりに貢献できる人づくりが期待されています。

新学習指導要領は「社会に開かれた教育課程」の実現を求めています。これは日々の教育活動をいまの地域社会に開くことにとどまらず、子供が活躍する将来の社会を見据えて開くことを意味しています。学校教育の出口が強く意識されているのは、学校は子供たちを社会人として成長させる準備教育の場であるとする認識にもとづくものです。これからの学校では社会への入口を意識した教育活動が一層求められます。

社会科の教科目標には「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」を育成することが示されています。社会科は将来の社会人を育成する中核となる教科であると言えます。

私たちは社会や社会的事象に支えられています。社会のさまざまな現象から影響を受けています。先人の努力のうえに現在の社会があります。こうした視点から、社会的な事象や事柄がわかり、これらと自分(たち)との結びつきを認識するようになると、子供のなかによりよい社会の形成にかかわろうとする意識が芽生えてきます。

社会科授業では、社会的事象相互の関係性ととともに、地理的、歴史的な視点や方法など「社会的な見方・考え方」を発揮させることによって、子供たちに社会認識を深めさせることができます。また、子供たちが目的意識をもって主体的に問題解決に取り組む学習や互いに高め合う学び合い活動を充実させることによって、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実現させることができます。

なぜ、子供に社会科を学ばせるのか。改めて社会科の教科としての役割を今日的な視点からとらえ、社会科授業を一層充実させたいと考えます。



北 俊夫 (きた・としお)

福井県に生まれる。東京都公立小学校教員、東京都教育委員会指導主事、文部省(現文部科学省)初等中等教育局教科調査官、岐阜大学教授、国士舘大学教授を経て、現在総合初等教育研究所参与。
【近著】『「主体的・対話的で深い学び」を実現する社会科授業づくり』『「思考力・判断力・表現力」を鍛える新社会科の指導と評価』『“知識の構造図”を生かす問題解決的な授業づくり』(明治図書)、『「ものの見方・考え方」とは何か』『なぜ子どもに社会科を学ばせるのか』(文溪堂)など。

『新しい社会』
編集の基本方針

『新しい社会』は、問題解決的な学習を通して、よりよい社会づくりに参画・貢献しようとする意欲と態度を育てます。

1 「調べて、考えたくなる」教科書

- ・新学習指導要領の各学年の目標に明記されている「学習の問題を追究・解決する活動」を重視し、「学習問題をつかむ・調べる・まとめる・いかす」を基本とした「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができるようにしました。
- ・「社会的な見方・考え方」を、「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と「方法」(考え方)に分けて提示し、「見方・考え方」を働かせながら問題解決的な学習を進めることで、深い学びにつなげることができるようにしました。

2 「社会とかかわる」子供を育てる教科書

- ・学習成果を活用した学習活動の場面を中心に、実生活や実社会との結びつきを意識させ、よりよい社会づくりのために参画・貢献しようとする意欲や態度の基礎を養うとともに、社会へのかかわり方を選択・判断する活動を充実させました。
- ・実社会に生きる人々の姿を多数掲載し、社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実際に話を聞いたりする活動を充実させることができるようにしました。

3 「主体的に、楽しく学ぶことができる」教科書

- ・「つかむ」段階では、予想や学習計画を立てる場面を随所に提示したほか、各学年の冒頭と巻末には、学年で「学ぶこと」や「学んだこと」を提示して、「見通し」をもって学習を進めることができるようにしました。
- ・見開きを使った写真やイラストなど、活用できる資料を多数掲載するとともに、親しみやすい児童キャラクターが学習をナビゲートするようにし、児童が主体的に、楽しく学ぶことができるようにしました。



表紙は、各学年の学習事項をふまえて、社会科学学習への興味・関心を喚起するイラストと写真で構成しました。
3年、4年、5年上、5年下、6年政治・国際編、6年歴史編の全6冊の構成とし、6年の2冊は4月に同時供給します。

2 問題解決的な学習を促す「学習の進め方」

各学年の最初の単元に、問題解決的な学習の進め方を見開きで例示しています。定評ある「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習の進め方を、具体的に示しています。

本時のめあて

各見開きの左ページ側注に「本時のめあて」を明示することで、課題意識をもって学習に取り組むことができます。

主体的な学びを意識した「つかむ」

各小単位では、課題意識を高め、見通しをもって問題解決的な学習に取り組むことができるよう、「学習計画を立てる」場面を重視しました。

深い学びにつながる「社会的な見方・考え方」

「見方・考え方」を働かせて問題解決的な学習を進めることで深い学びを実現します。

学習の進め方

学習問題をつくり、
学習の進め方をかくにんしよう。

つかむ

気づいたことや
ぎもんに思ったことを
みんなで話し合い、
学習問題をつくらう。

自然が多いところ
もあれば、たて物が
多いところもあると
思うよ。

市役所などの公
共施設はどのよ
うな仕事をするこ
ころなのだろう。

バスや地下鉄は、どこ
までつづいているのかな。

学校のまわりのように、
市にも古くからのこるたて
物がたくさんあるのかな。

みんなで
つくった
学習問題

学習問題

わたしたちの市は、
どのような様子なのでしょう。

学習問題について予想し、
何について調べるかを話し
合ってみましょう。

学習問題 について予想しよう

- 自然が多い山の方は、土地が高くなっているのではないかな。
- ひくい土地と高い土地では、使われ方にちがいがあるのではないかな。
- 電車、地下鉄、新かん線のほかに、船もあるのではないかな。
- 公共施設は、くらしを助けるはたらきをしているのではないかな。
- 福岡城のあとがあるから、古い神社やお寺もあちこちにあると思う。

調べること

- 土地の高さや広がり
- 土地の使われ方
- 交通の様子(電車やバス、船、道路、空港)
- 市役所などの公共施設の場所とはたらき
- 古くからのこるたて物

活用のポイント

広がり

- どのように広がっているのかな。

時間

- どのようにかわってきたのかな。

関係するところ

- どのようなつながりがあるのかな。

くらべる、分ける、まとめる、つなげる

- いろいろな方法で、考えてみよう。

このマークを活用して
社会科の学習を進めよう。

福岡市は、どこに
位置している
のかな。

ドラえもんが
目じるしです。

学習問題について 追究する「調べる」

「調べる」段階では、対話的な学習など、さまざまな学習の方法を提示しています。

調べる

いろいろな方法で、
調べよう。

調べ方

みんなで協力して
調べよう。



- じっさいに行き調べる(見学、かんさつ、体験、インタビューなど)。



- 図書館をりようしてしりようを集める。



- 手紙を書いて、ほかの学校や市役所の人などにしつもんする。



- インターネットを使っしりようを集める。

ふり返ろう

- 学習内ようをふり返り、それぞれの時間で、調べたことをせいりしよう。

対話的な学びをさまざまな 場面で提示

児童相互の話し合いや討論の場を積極的に提示し、多様な視点を身に付け、多角的に考えられるようにしています。

まとめる

わかったことや考えた
ことをまとめよう。

- 調べてわかったことや考えたことをまとめてみよう。
- 友だちと話し合ったり、まとめたりするときには、教科書のことはをヒントにしよう。

まとめ方

- 学習問題について調べたことを、ノートやカード、表などにまとめよう。
- 調べてわかったことをもとに、考えたことも書くようにしよう。

ふり返ろう

- 自分の調べ方と友だちの調べ方をくらべてみよう。
- 自分の予想がどうだったか、たしかめてみよう。
- よりよい調べ方やまとめ方について考えてみよう。

学習したことを整理・ 考察する「まとめる」

小単位ごとに「まとめる」段階を設け、多様な表現活動を提示しています。

学びのふり返りを重視

1時間ごと、小単位ごとの「ふり返る」場面を大切にしています。また、学習内容だけではなく、調べ方やまとめ方についてのふり返りも促しています。

社会的な事柄に参画・ 提案する「いかす」

「いかす」段階では、新学習指導要領をふまえ、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりする場面を充実させました。

いかす

学習したことを次の
学習や生活にいかそう。

- 調べてまとめたことをもとに話し合っ、次の学習にいかしたり、だれかにつたえたりしてみよう。
- 学習したことをもとに、ほかの学習(ひろげるのページなど)にも広げてみよう。



「学習の進め方をたしかめよう」



国語「図書館の使い方」

● 学習の進め方

3年 P.18-19

3 「主体的・対話的で深い学び」を実現します

「社会的な見方・考え方」を働かせて問題解決的な学習を進め、多様な「まとめる」活動に取り組むことが、「主体的・対話的で深い学び」につながります。

「主体的・対話的で深い学び」を実現する問題解決的な学習

問いの構造

全ての単元を通して、単元のめあて、小単元の学習問題、本時のめあてを構造的に紙面に明示し、問題解決的な学習を効果的に進められるようにしています。

本時のめあて

各見開きの左ページ側に「本時のめあて」を明示することで、課題意識をもって学習に取り組むことができます。

小単元の学習問題

小単元の学習問題をわかりやすく示しています。「まとめる」場面では再提示し、学習問題のふり返りを促します。

主体的な学びへ

児童が学習問題をつくり、小単元の見通しをもって主体的に学習を進めることができます。

5 わたしたちの生活と環境

5 わたしたちの生活と環境

日本の世界自然遺産

わたしたちの生活は、どのような自然環境に囲まれているのでしょうか。

世界遺産

世界遺産条約にもついて登録された道徳や自然などのことで、自然遺産、文化遺産、それらの両方の複合遺産の三つに分けられます。

自然環境とかかわっていく大切さ

ひととさんたちは、わたしたちの生活と自然環境とかかわりについて話しています。

「国土の学習では、日本には四季があり、各地にさまざまな地形や気候の特色があることを学習しました。」

「日本には、世界自然遺産に登録されているところもあります。ぜひ一度行ってみたいと思います。」

「一方で、台風や地震、火山の噴火などの自然災害も起きています。」

「きれいな自然環境は、いつまでも守っていかたいです。そのためには、どのようにすればいいのかな。」

日本には、白神山地など世界自然遺産になっている場所だけでなく、豊かな自然環境がたくさんあります。しかし一方で、排水などによって環境が、なってきたときもありました。

「どうしてたくさんあるのかな。」

「昔はよごれていた北の川市が、きれいになったのは何かわけがあるのかな。」

「自然のこわさやよさに対して、どのようにかかわっていけばいいのでしょうか。」

ひととさんたちは、話したことをもとに、国土の自然環境とわたしたちの生活とかかわりについて調べてみることにしました。

単元のめあて

単元の学習のねらいを明確にします。

めあて

国土の自然環境は、わたしたちの生活とどのようなかかわりがあるのでしょうか。

つかむ

3 環境を守るわたしたち

豊かな水資源をもつ京都市

京都市では、まわりの山でたくわえられた豊かな水が地下水や川となり、人々の生活を支えてきました。りくさんたちは、京都の水のことや学校の近くを流れる鴨川について話しました。

鴨川の変化について話し合い、学習問題をつくりましょう。

「わたしたちの住む京都市の中心部には、鴨川が流れています。鴨川はやがて大阪湾に流れていきます。」

「多くの人が散歩やジョギングをしています。水遊びや魚釣り、鳥にえさをあたえる人もいて、市民のいこいの場です。」

「京都市の人は、豊富な川の水や地下水を利用しながら、くらしをよりよくしたり、産業を発展させてきたんだね。」

りくさんたちは、今と昔の鴨川の様子を見て、感じたことや疑問を出しました。

「昔の鴨川はともよごれていたのね。なぜ、こんなによごれていたのかわかるかな。」

「ばあちゃんが子どもだったころ、川がだんだんきれいになったと聞いたことがあります。うやうやしくきれいな川に変えたのかな。」

「きれいな川が、鴨川をきれいにするという話、聞いたことがあります。」

学習問題

鴨川は、だれがどのようにしてきれいな川になっているのでしょうか。

●豊かな水資源をもつ京都市 5年下 P.124-125

調べる

調べる

美しい鴨川を取りもどすために

鴨川がよごれていたところの全国的な公害の広がりについて学習したりくさんたちは、その後どのように鴨川がきれいになったのかを考えました。

公害の広がりを防ぐために、全国的に取り組まれていたことはあるのかな。」

「京都市でも、鴨川をきれいにするために何かしたのではないかと思います。」

市役所の大原さんの話

1960年ごろから1970年ごろにかけて、全国的に公害が広がったことをきっかけに、国では、公害をなくするための法律や、川などの水をよごさないようにするための法律がつけられました。

京都市でも、生活排水が川に流れこまないように下水道を整備したり、工場の排水を規制したりしました。

公害の広がりを防ぐために、国では法律がつけられ、京都市でも川をよごさないための具体的な取り組みが行われたのです。

法律

社会をよりよくするために、国が国民を守るよう示すルールです。法律がつけられることで、社会のしくみが変わることがあります。

●美しい鴨川を取りもどすために 5年下 P.128-129

まとめる

まとめる

つながりを考えて話し合う

りくさんたちは、学習してきたことをふり返り、鴨川の水をきれいにするための取り組みを、それぞれの立場でまとめました。

そして、まとめたそれぞれの取り組みをみんなで見ながら、自分だったら、どの活動に協力できるかを話し合いました。

学習問題・確認しよう

学習問題

鴨川は、だれがどのようにしてきれいな川になっているのでしょうか。

●立場を決め、鴨川をきれいにする取り組みをまとめよう

京都市・京都市の取り組み

高度経済成長の時代、鴨川はよごれていたため、京都市では、家庭や工場の排水が直接川に流れないように下水道を整備したり、工場の排水を規制したりしました。また、京都市では、川での遊び方などのきまりを決め、鴨川条例をつくりました。

友禅あらい職人の取り組み

昔は鴨川のきれいな流れを利用して染物をあらいまわっていました。今は、川をよごすことのないように、地下水をくみ上げて工場であらっています。あらった水は下水道に流して、川をよごさないようにしています。

鴨川を美しくする会の取り組み

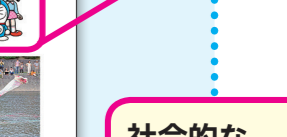
春の鴨川茶会や夏の鴨川納涼、秋のクリーンハイクなどを計画し、鴨川を美しく、親しみこがてできるようにしています。みなさんの協力のおかげで、水はきれいになり、いやなにおいもほとんどなくなりました。京都のほこる鴨川が、いつまでも美しくあってほしいと願っています。

●つながりを考えて話し合う 5年下 P.132-133

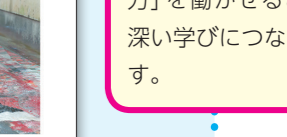
しくみやルールがつくられたことで、工場の人々はどのような努力をしたのかな。



しくみやルールがつくられたことで、工場の人々はどのような努力をしたのかな。



しくみやルールがつくられたことで、工場の人々はどのような努力をしたのかな。



しくみやルールがつくられたことで、工場の人々はどのような努力をしたのかな。

社会的な見方・考え方

4種類の「見方・考え方」を働かせることで、深い学びにつながります。

対話的な学びへ

実社会で働く人々の姿に学ぶとともに、グループなどで話し合う活動を積極的に提示しています。

自分だったら、だれのどの活動に協力できるか話し合おう

鴨川を美しくする会に協力できます。川をきれいにする活動に参加することは、わたしにもできそうです。

友禅あらいの職人に協力できます。例えば、職人が川をよごさないようにしていることをまわりに伝えたり、それを聞いた人も協力しようと思うかもしれないからです。

わたしは、府や市の取り組みに協力できると思います。例えば、家庭でよごれた水を出さないようにすると、川をよごさないことにつながると思うからです。

考えたことをノートにまとめよう

京都市や京都市の人は、下水道を整備したり、きまりをつくらして守っていました。でも一人ひとりがしっかりきまりを守ったり、下水道を上手に利用したりすることが大事だと思いました。府や市の人にまかせておくのではなく、一人ひとりの取り組みが大事だとあらためて気づきました。

りくさんのノート

深い学びへ

「見方・考え方」を働かせた問題解決的な学習を進めるとともに、説明、議論したり、考察、構想したりすることを通して、深い学びを実現します。

特色2

1

今日の教育課題にかかわる箇所を中心に、学習したことをいかして社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりする学習場面を例示しました。

ポスターにして伝える

[illegible]

●市のはってんのために

調べたことをもとに、市がこれからどのようなになってほしいか話し合い、ポスターにして伝える活動を提示しています。

さまざまな意見をふまえて社会的課題を考える

いすかす

お話をききなると、
人々驚きだすけれども、
これは、おのれおのれと
大層に人々を驚かす
おもしろいお話。

この川は、ほげほげ
10時に1度はんはん
と流れてきます。舟が
起このうたが、流
れていきました。

とてもよかった
です。生活が平便に
なっていました。


いすかす

こんな立場から考えよう あなたが住んでいる
まち、きれいな川がある自然豊かなところだ
です。そのふたつで、今、川をめぐって大きな
問題が生じています。

きれいな川が
あるには、どう
したらいいで
しょうか。

二つの意見
があるようです。
う。

いすかすの意見




川底をコンクリートにする、と。こす
かすにいいです。

自然の恵みと、これからのうちの
可能性があります。

川を汚染すると、川のみわくに戦い
問題を提起することができます。

いすかすの意見



川底をコンクリートにする、川のみ
わりの環境が壊れてしまいます。

自然を壊るものでない、ひひんを
考えるなどの意見があります。

自然の恵みと、こすのそをを守る
ことが
いいかもしれません。

●ことなる立場から考えよう

生活と環境について調べてきたことをもとに、自然保護をめぐる異なる立場について理解を深め、考えていく活動を提示しています。

自分にできることを考える

いかな

地域が広かた、学校が
あるからいかなるかな。
国語はたまたまかな
てきてみるよ。

国語のたまたまかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかな

いかなるかなを
てみるよ。

(1) いかなるかなを
てみるよ。

(2) いかなるかなを
てみるよ。

(3) いかなるかなを
てみるよ。

(4) いかなるかなを
てみるよ。

(5) いかなるかなを
てみるよ。

(6) いかなるかなを
てみるよ。

(7) いかなるかなを
てみるよ。

(8) いかなるかなを
てみるよ。

(9) いかなるかなを
てみるよ。

(10) いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかな

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかな

いかなるかなを
てみるよ。

(1) いかなるかなを
てみるよ。

(2) いかなるかなを
てみるよ。

(3) いかなるかなを
てみるよ。

(4) いかなるかなを
てみるよ。

(5) いかなるかなを
てみるよ。

(6) いかなるかなを
てみるよ。

(7) いかなるかなを
てみるよ。

(8) いかなるかなを
てみるよ。

(9) いかなるかなを
てみるよ。

(10) いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

いかなるかなを
てみるよ。

●ひなん所シミュレーション

地震からくらしを守る取り組みを調べた後で、学校や地域で助け合う「共助」についてより深く考えるために、ゲームを使う方法を提示しています。

社会参画

[illegible]

●公園づくりについて話し合おう


公園づくりを例に、さまざまな意見を取りまとめながら、よりよい社会の形成について具体的な考察を進めていく活動を提示しています。

新学習指導要領の各学年の「内容の取扱い」に「選択・判断」が示されている箇所を中心に「いかす」を提示しました。

| 学年 | 新学習指導要領で「選択・判断」が示されている箇所 | 「いかす」の該当箇所 | 学年 | 新学習指導要領で「選択・判断」が示されている箇所 | 「いかす」の該当箇所 |
|-----|--------------------------|--------------------------------|-----|--------------------------|--|
| 3 年 | 内容の取扱い(3) イ | P.120-121 (単元「くらしを守る」) | 5 年 | 内容の取扱い(5) ウ | (下) P.138-139 (単元「わたしたちの生活と環境」) |
| 4 年 | 内容の取扱い(1) エ | P.50-51 (小単元「水はどこから」) | 6 年 | 内容の取扱い(3) エ | (政治・国際編) P.96-97 (小単元「日本とつながりの深い国々」) |
| | 内容の取扱い(1) オ | P.72-73 (小単元「ごみのしゅりと利用」) | | | |
| | 内容の取扱い(2) ウ | P.94-95 (小単元「地震からくらしを守る」) | | 内容の取扱い(3) エ | (政治・国際編) P.110-111 (小単元「世界の未来と日本の役割」) |
| | 内容の取扱い(3) ウ | P.112-113 (小単元「残したいもの 伝えたいもの」) | | | |


2

実際に取材した「〇〇さんの話」を随所に設けて、さまざまな仕事や社会的活動にかかわる人の姿を取り上げ、共感的に人の生き方に学ぶことができるようにしました。キャリア教育の観点からもご活用いただけます。

| | | |
|---|---|--|
| <p>市役所の赤崎さんの話</p> <p>1919(大正8)年に明石が市になったときの人口はおよそ3万2千人でした。その後、林崎村、大久保町、魚住村、二見町といっしょになり、今の明石市の形になりました。さいしょの明石市とくらべると、今の広さはおよそ</p> |  | <p>松島高校2年生の宇佐美さんの話</p> <p>小さいころから旅行が好きで、観光科に入りました。毎日、仙台から通っています。ここでは、まちの観光しせつで学ぶ実習が多く、働くことの大変さを実感していますが、地いきの人たちととても仲良くなり、やりがいを感じています。今では「第二のふるさと」になった松島町のために、卒業した後も何かできることはないか考えています。</p> |
|---|---|--|

あらしろ パイナップル農家の新城さんの話


パイナップルは植え付けてから収穫まで約2年もかかります。沖縄の暑い日差しで果実が日焼けしないように、一つ一つふくろに包んだり、ネットをかけたりしてくふうしています。収穫は夏の暑い時期に行いますが、葉の先にあるとげから体を守るため、^{あつ}厚い作業服を着て収穫するのでとても大変です。昔はかんづめ用のものをつくっていましたが、現在は生食用の^{げんざい}価格の高いパイナップルもたくさんつくるようになっています。たくさんの人からおいしいと言われて、やりがいがあります。



大使館のマーヘルさんの話

サウジアラビアの気候は、日本と比べてとても暑いですが、冬には、気温が大きく下がります。^{さばく}砂漠のイメージが強いかもしれませんが、広い国土には、雨が降る^ふ地域や冬に雪が降る^{ちいさ}地域もあります。昔は、羊や牛を飼って、砂漠を移動しながら生活していましたが、都市化が進み、今は定住している人がほとんどです。

サウジアラビアでは、金曜日と土曜日がお休みです。休みの日には、砂漠で乗り物に乗って遊んだり、みんなで集まってティータイムを楽しんだりします。



↑ 5年上 P.51

↑ 6年政治・国際編 P.88

特色3 「主体的に、楽しく学ぶことができる」教科書

① 見通しをもって、楽しく 学習を進めることができます

1 年間のはじめに



● 3年生で
学んだこと

各学年の冒頭には、前学年の学習内容を簡単にふり返ることができる紙面を設けています。

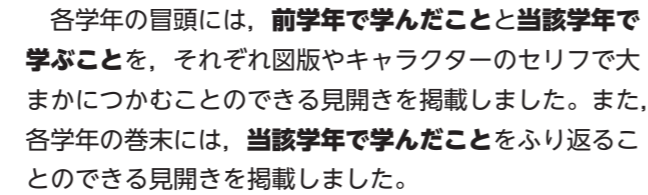
4年 P.2-3



● 4年生で
学ぶこと

続けて、当該学年の学習内容を概観できる紙面を設け、学習の動機付けにも活用できるようにしています。

← 4年 P.4-5



●生活科で
学んだこと

3年の冒頭は、生活科の内容をふり返りながら、社会科の導入として活用できる紙面を設けています。

3年 P.2-3

各学年の巻末では、1年間で学んだ内容を、要点をおさえながら振り返ることができるようにしています。



●4年生で学んだこと

4年 P.176-177

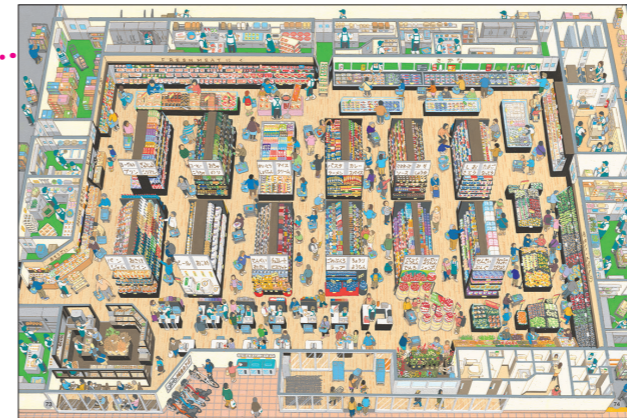


1 年間の学習のあとで

 4年 もくじ

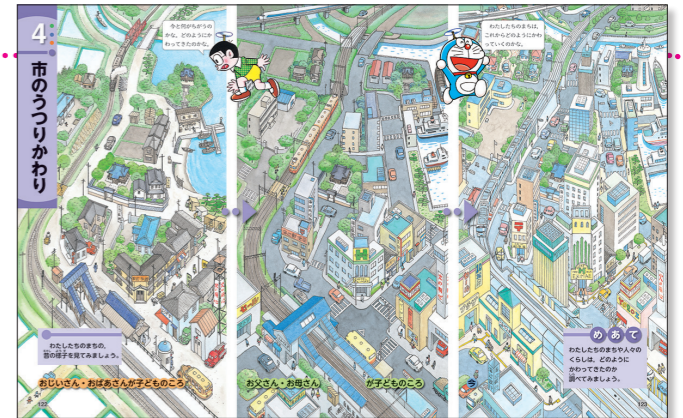
② ワイド判をいかしたダイナミックな資料提示

ワイド判（ＡＢ判）をいかし、見開きを使った迫力のあるイラストや写真を多数提示しています。



●スーパーマーケットの様子

3年 P.73-74



●市のうつりかわり（オリエンテーション）3年 P.122-123



●住みよい暮らしをつくる（オリエンテーション）

4年 P.32-33

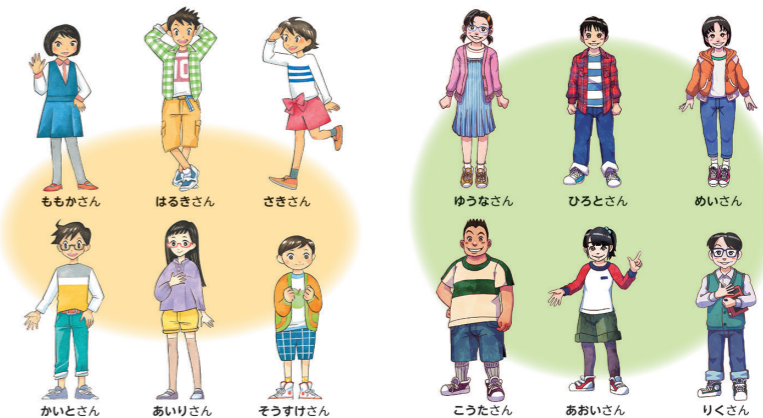


●庄内平野をながめて

5年上 P.76-77

③ 学習をナビゲートするキャラクターたち

個性豊かで親しみやすい
キャラクターが、児童と
ともに学ぶ仲間として、ある
いは学習の示唆を与えるア
ドバイザーとして主体的な
学習をサポートします。



➡ 3年, 4年の
キャラクター
たち

5年, 6年の
キャラクター
たち

4 多様な表現活動に取り組むことができる「まとめる」場面

学習成果を「まとめる」場面を小単元の終末に設け、まとめ方について丁寧に示しました。
習得した知識を定着させるとともに、調べたことをもとに考え、表現する力を育てます。

小単元の学習問題

「まとめる」場面では、小単元の学習問題を再提示し、学習問題に立ち返った考察を促します。

「ことば」一覧

「まとめる」場面では、小単元の学習に出てくる「ことば」の一覧を提示し、学習をまとめたり、自分の考えを説明・論述したりする言語活動に活用できるようにしています。

ことば

メディア (マスメディア)

情報を送る方法のことを、メディアといいます。なかでもテレビや新聞などのように、同じ情報を多くの人に一度に送る方法のことをマスメディアといいます。

5年下 P.57

見開きの学習内容において、特におさえておきたいキーワードを適宜「ことば」として提示し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図りました。

「ことば」を活用して調べたことを整理する

●フローチャートにまとめて話し合う

情報の送り手によるさまざまな工夫や、受け手による活用のしかたなどについて話し合い、多面的にとらえる活動を取り上げています。

5年下 P.68-69

多様な表現活動

文章でまとめる、討論する、説明するなどの言語活動を軸にした多様な表現活動を提示しています。習得した知識を定着させるとともに、思考力、判断力、表現力を育てます。

まとめる

放送局がわたしたちに
情報をとどけるまでの
働きをフローチャートに
まとめ、話し合
いましょう。

まとめる活動にことばを生かそう。

- メディア (マスメディア)
- 編集長 ●報道被害

学習問題を確認しよう。

学習問題

放送局の人々は、どのようにしてわたしたちに
情報をとどけているのでしょうか。

フローチャートにまとめて話し合う あおいさん
たちは、学習計画を立てたときにみんなで予想
したことや、これまで調べてきたことをふり返り、
情報がとどけられるまでの放送局の人の働きなど
をフローチャートにまとめました。

まなび方コーナー

フローチャートにまとめる 学習したことをつなげて考える

- 学習をふり返って、各時間にどのようなことを学んできたかを整理する。
- ニュース番組で放送されるできごとが、どのような作業をへて、わたしたちのところにとどけられるのかを矢印を使って書く。
- ニュース番組を放送するためのそれぞれの作業について、放送局の人たちがどのようなふうをしていたかを書く。
- 情報を受けとるわたしたちは、どのようなことに気を付けて情報を活用すればよいかを書く。

フローチャートにまとめよう

できごと

情報を集めて選ぶ

情報の発信

わたしたち

放送局の人たちのくふう…

放送局の人たちのくふう…

どのようなことに気を付けて情報を活用すればよいか…

学習したことをふり返って、空らんへ書きこんでみましょう。

ニュース番組でとどけられる情報について、 考えたことを話し合おう

放送局で働く人は、
見ている人が求めている情
報をとどけられるよう
に、くふうをしていると
感じました。

伝えられる情報に
は、送り手の考えが
ふくまれていること
がわかりました。

放送局の人たちは、わたし
たちに毎日情報を伝えるため
に、さまざまな取り組みをし
ていることがわかりました。

わたしたちが、情報をどの
ように活用するかがとても大
切だと感じました。

自分の考えをノートにまとめよう

自分の考え

●情報の生かし方

テレビは、世の中の情報をわかりやすく伝
えてくれます。ニュースや天気予報などを
決まった時間に見るようにして、自分たちの
生活に役立てたいと思います。ニュースなど
の取材には、はやく、正確に伝えようとする
多くの人のくふうや努力があることがわかり
ました。これは、放送局で働く人の使命感から
だと思います。これからは、放送局で働く人た

ちのくふうを考えなが
らニュースなどを見て
みようと思います。

●気をつけること

報道被害の問題など、テレビなどのマスメ
ディアの情報は、いつも正しいとは限らない
ことがわかりました。いくつかの情報を見比
べて、自分で判断できるようにしたいと思います。
(あおい)

あおいさんのノート

自分の考えをまとめる

各学年の「まとめる」場面で多様な表現活動を提示

| 学年・ページ | まとめ方 |
|------------------|-----------------------|
| 3年 P.50-51 | せんでんシールをつくる |
| 3年 P.106-107 | 関係図にまとめる |
| 4年 P.110-111 | 年表にまとめる |
| 4年 P.130-131 | 表彰状をつくる |
| 5年上 P.108-109 | プレゼンテーションソフト にまとめる |
| 5年下 P.132-133 | さまざまな立場で考える |
| 6年政治・国際編 P.94-95 | 意見文にまとめる |
| 6年歴史編 P.126 | 人物カードにまとめる |

各学年の主なまとめ方

まとめる

学習問題について
調べたことを整理し、
自分の考えを
4コマまんがで
表しましょう。

①調べたことについて、次の視点で整理してみよう。

(1) 元来や昔からのくふうと現代のくふうのちがいはどのようなことか。

(2) 平素の政治と選挙の政治のちがいはどのようなことか。

②せりふを考えて、4コマまんがを完成させよう。

元寇の竹崎季長

① 戦いでほや
くし、引きあ
げさせた戦長

② 戦長が戦
い、自分の働き
をうたえた

③ そのかいあって、ようやく
悪魔をもらえた

④ 戦長が戦
い、自分の働き
をうたえた

⑤ 戦長が戦
い、自分の働き
をうたえた

⑥ 戦長が戦
い、自分の働き
をうたえた

⑦ 戦長が戦
い、自分の働き
をうたえた

⑧ 戦長が戦
い、自分の働き
をうたえた

⑨ 戦長が戦
い、自分の働き
をうたえた

⑩ 戦長が戦
い、自分の働き
をうたえた

(4コマまんが)

6年歴史編 P.54

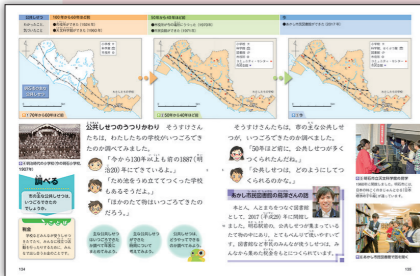
今日の課題に関する内容が充実

防災教育やキャリア教育、ICTなど、現代社会における今日の課題について、児童が主体的・多角的に考察できるように各学年で積極的に取り上げています。

政治の働きに関連した教材の充実

政治の働きへの関心を高めることが重要視されていることを受け、関連した教材を充実させています。

3年 P.134-135



●市のうつりかわり

公共施設の整備とあわせて、租税の役割についても触れています。

4年 P.86-87



●自然災害から暮らしを守る

市役所の働きを中心に、防災に対する取り組みとして、防災情報の発信や国の機関との関わりなどを取り上げています。

6年政治・国際編 P.24-25



●国の政治のしくみと選挙

政治のしくみについての学習の中で、選挙の意義について考えることができるようにしました。

防災教育に関連した教材を各学年に掲載

●火事から暮らしを守る

地域の安全を守るための、消防署や地域の人々の取り組みを学習します。

3年 P.102-103



●自然災害を防ぐ

複数の災害事例を掲載し、災害と国土の自然条件との関連や、国の防災の取り組みなどを具体的に学習できるようにしています。

5年下 P.100-101



●地震から暮らしを守る

地域における防災の取り組みを、丁寧に提示しています。

4年 P.90-91



●震災復興の願いを実現する政治

東日本大震災後の復旧・復興に向けた取り組みを通して、政治の働きを学習します。

6年政治・国際編 P.46-47



さまざまな今日の課題を積極的に提示

キャリア教育やICT、エネルギーなどのさまざまな今日の課題を、児童が多様に考察できるように取り上げています。

キャリア教育

●はたらく人とわたしたちの暮らし（オリエンテーション）



地域で出会う働く人々の姿を紹介し、さまざまな仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えられるようにしています。

3年 P.36-37

エネルギー

●暮らしをささえる電気・ガス



4年 P.54-55

SDGs, ESD

●持続可能な社会をめざして



注目を集めているSDGsについて、国際単位の中で取り上げています。自分に関心をもった目標について調べ、考えを深めることを促しています。

6年政治・国際編 P.104-105

ICT

●情報を生かすわたしたち



インターネットを活用した学習や、電子黒板によるプレゼンテーションなど、ICTを活用した学習場面を提示しています。

5年下 P.94-95

国際理解

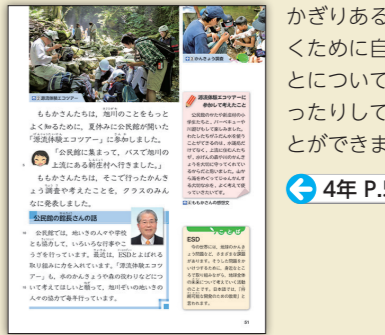
●日本とつながりの深い国々



6年政治・国際編 P.66-67

日本とつながりの深い4か国を取り上げています。豊富な資料をもとに調べながら、国際理解を深められるようにしています。

●大切な水のために

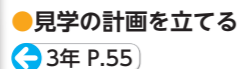


かぎりある水を大切にしているために自分たちができることについて、調べたり話し合ったりして、考えを深めることができます。

4年 P.51

充実の「まなび方コーナー」

見る・聞く・ふれる



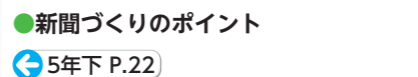
【事前に下調べをする】

- 年表、歴史辞典、関係する本、インターネットなどを活用して、時代ごとく、関係する人物をおさえる。
- 地図やインターネットなどで場所や行き方を確認する。
- 【現地へ行って調べる】
- 建物や遺跡の全体を周りに見る。
- 背景を入れて写真をとる。説明してある看板などを読む。
- 地域の人や学会などに話を聞く。
- 【もどきながら確認する】
- うまく調べられなかった、わからないことが残っていないかを確認する。
- 新しい疑問などがあれば、おれをかねて学芸員などに確認する。

- 色のちがいによって、土地の高さが表されていることに注目する。
- 県内のどこにどのような地形が見られるか、読み取る。
- 20ページの衛星写真とくらべてみる。



- 学習のなかで、大切だと思ったことや心を動かされたことをもとに、新聞のタイトルをつける。
- 学んだ内容から大切だと思ったことを選ぶ。文字だけでなく、図や表、写真なども使う。
- 自分の意見や考えを書く。
- 新聞が完成したら、教室やろう下にはって、友だちと読み合う。
- 友だちの新聞にコメントを書いて、ふんせんをはってあげよう。



【国会・内閣・裁判所の関係を整理する】

- 国会・内閣・裁判所を分けて、わかりやすい図にする。写真やイラストをはいりけてもよい。
- 矢印の一部をクイズ形式で当てるようにして、理解をより深められるようにするとうい。

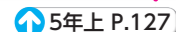
【三権と国民との関係を整理する】

- 国民を中心に、三権とはちがう種類の矢印で関係を表す。
- 国会との関係については、選挙の立候補と投票の年令も答えられるようにするとうい。

どのように学んだか振り返ろう



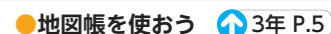
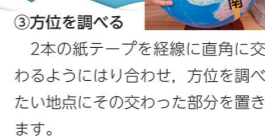
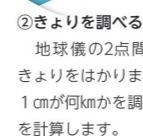
こんな学びの進め方もあるよ



3年から地図帳を使用することをふまえ、地図帳・地球儀を活用する場面を積極的に提示しています。3年、4年では地図帳の活用に関する特設ページを、5年では国土学習の導入で地球儀に関する「まなび方コーナー」を設けています。



①位置を調べる
地球儀にある緯度と経度を用いる
と位置を表すことができます。



← 5年上 P.8

豊富な教材と使いやすさへの配慮

地域や学校の実態をふまえて、豊富な教材や事例の中から選択して学習を進めることができます。また、学習への興味・関心を高められるよう、デジタルコンテンツなども新たに用意しました。

柔軟な扱いが可能な「ひろげる」

発展や補充的な内容など、柔軟に扱うことが可能な「ひろげる」を充実させています。「ひろげる」を活用することで、社会科の学習にさらに広がりをもたせることができます。



「ひろげる」一覧

| | |
|--|--|
| 3年 <ul style="list-style-type: none"> いろいろな地図記号 → P.34-35 いろいろな店 → P.88-89 市の様子のうつりかわり → P.142-143 | 5年 <ul style="list-style-type: none"> 山地の人々のくらし → 上 P.40-41 雪国の人々のくらし → 上 P.64-65 福井平野の新しい米づくり → 上 P.94-95 関東平野のレタスづくり → 上 P.110-111 福島盆地の果物づくり → 上 P.112 鹿児島県の肉牛の飼育 → 上 P.113 くらしを支える造船業 → 下 P.24-25 くらしを支える製鉄業 → 下 P.26-27 食料品をつくる工業 → 下 P.32-35 新聞社の働き → 下 P.70-73 情報を生かす運輸業 → 下 P.84-85 情報を生かす観光業 → 下 P.86-87 情報を生かす福祉産業 → 下 P.88-89 公害をこえて → 下 P.134-137 |
| 4年 <ul style="list-style-type: none"> くらしをささえる電気 → P.52-54 くらしをささえるガス → P.55 下水のしよりと利用 → P.74-75 風水害からくらしを守る → P.96-97 火山災害からくらしを守る → P.98-99 地いきで学校をつくる → P.132-133 地いきの医りようにつくす → P.134-135 地いきの文化を受けつぐ → P.136-137 地いきの産業をおこす → P.138-139 | |

「ひろげる」は、年間指導計画の時数には含まれていません。

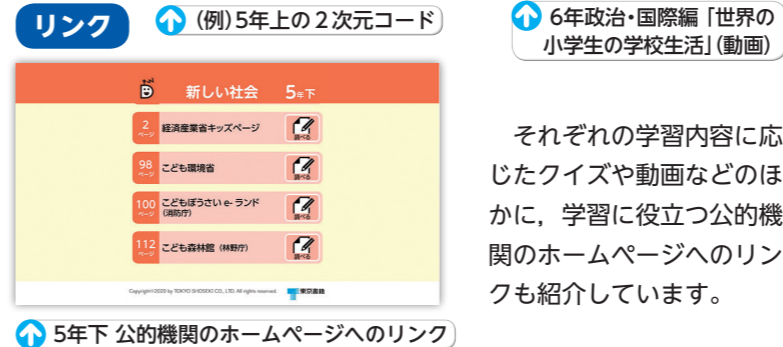
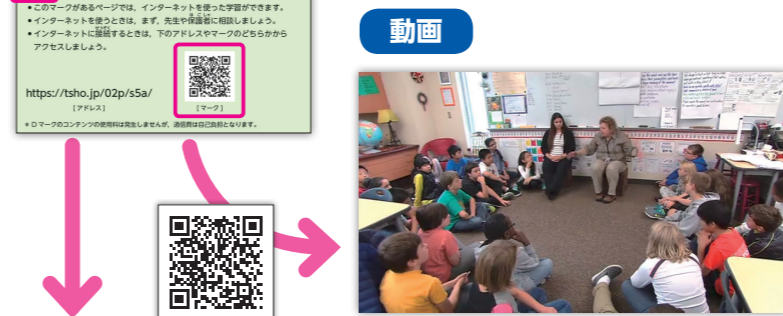
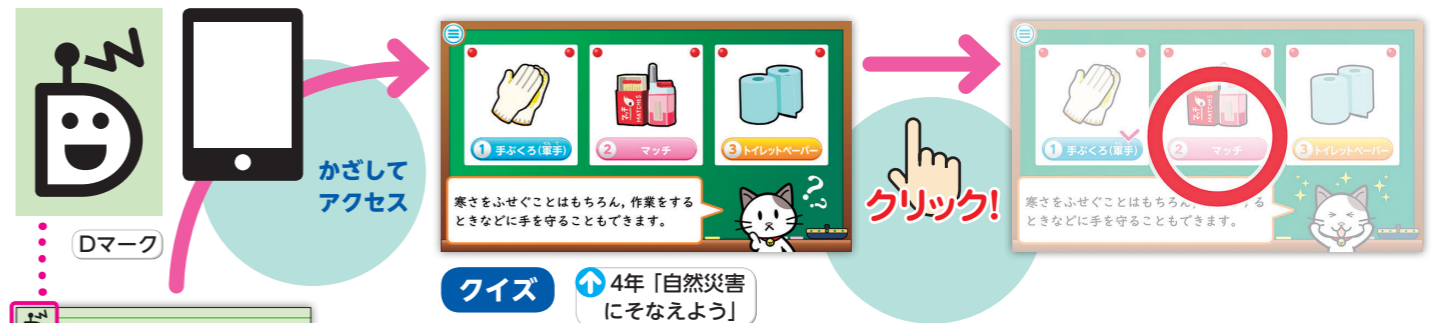
各学年に設けた選択教材

3年から6年まで、新学習指導要領をふまえ、各学年に選択教材を設けています。目次と当該ページには、選択教材であることを明記しています。

| | |
|-----------------|---|
| 「選択教材」一覧 | 3年 「農家の仕事」／「工場の仕事」 4年 「美しい景観を生かすまち・松島町」／ 「古いまちなみを生かすまち・登米市登米町」 5年 「低い土地のくらし」／「高い土地のくらし」 「あたたかい土地のくらし」／「寒い土地のくらし」 6年 「子育て支援の願いを実現する政治」／ 「震災復興の願いを実現する政治」 |
|-----------------|---|

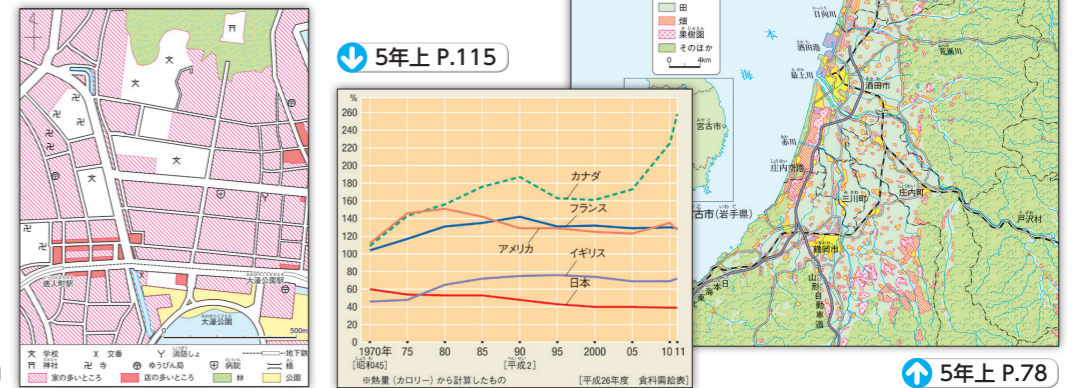
デジタルコンテンツを新たに用意

「D（デジタル）マーク」を示した箇所には、クイズや動画など、学習への興味・関心をより高めることができるDマークコンテンツを用意しています。各学年のもくじに記載のURLか2次元コードからアクセスすることができ、家庭学習でも活用できます。



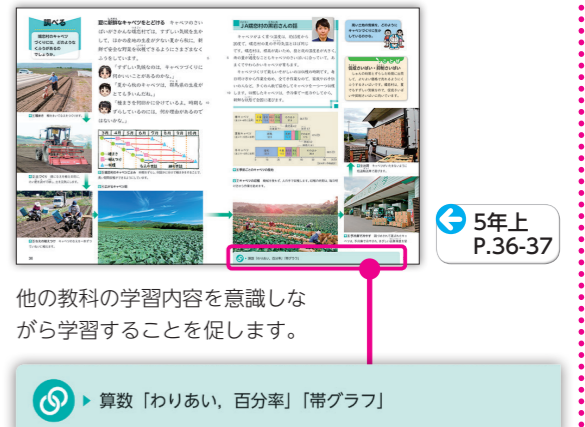
カラーバリアフリーに配慮

カラーバリアフリーの観点から、専門の団体が校閲を行い、図表やグラフなどは、色調の違いだけでなく、模様や形、線種などでも判別できるように配慮しています。



教科関連マークを新設

他の教科とかがわりがある学習内容のページには、「教科関連マーク」を示しています。



3 年の特色

※新学習指導要領では、中学年の目標と内容が学年別に示されたことをふまえ、「3年」「4年」の配本、構成としました。

1 新学習指導要領をふまえた「学校のまわり」と「市の様子」

生活科での既習事項をふまえ、「学校のまわり」と「市の様子」では、市の様子の学習に重点を置くよう再構成しました。また、「市の様子」では、新学習指導要領の着目の視点ごとに調べる構成とし、各見開きを比較しやすいように見せ方を工夫しています。



●市の土地の
使われ方
3年 P.22-23



●市の交通の様子 3年 P.24-25



●学校の東西南北 3年 P.8-9

2 「地域の安全を守る働き」を3年で学習

これまで4年で学習することが多かった「火事からくらしを守る」と「事故や事件からくらしを守る」は3年で学習します。

●くらしの安全を考えよう 3年 P.92-93

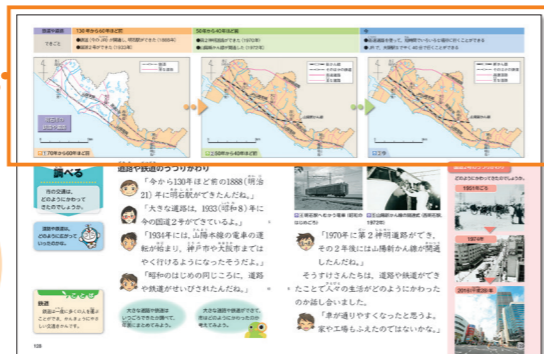


3 「市のうつりかわり」を新設

市のうつりかわりを学習する単位では、新学習指導要領の着目の視点ごとに、三つの時期を比較して学習を進めます。「市の様子」の学習と同様に、着目の視点ごとに調べ学習を進めていくことで、既習事項を活用できるようにしています。



●かわってきた明石駅 3年 P.124-125



●道路や鉄道のうつりかわり 3年 P.128-129

三つの時期に着目して、調べ学習を進めます。

4 年の特色

1 県の学習は第1単元と第5単元に分割して構成

新学習指導要領では、県の学習が、内容(1)の県の概要・47都道府県の学習と、内容(5)の県内の特色ある地域に分割されました。これを受けて、それぞれ第1単元、第5単元として構成しました。



●わたしたちの県(オリエンテーション)
4年 P.8-9



●日本の中の
宮城県
4年 P.16-17



●特色ある地いきと人々のくらし(オリエンテーション)
4年 P.140-141



●仙台市に住む外国のかた 4年 P.150-151

2 県内の自然災害について学習

県内の過去のさまざまな自然災害をふまえ、想定される災害に対する地域の関係機関や人々の協力について学習します。



●自然災害からくらしを守る(オリエンテーション)
4年 P.76-77

●家庭でそなえているもの 4年 P.82-83

3 県内の伝統や文化は4年で学習

これまで3年で学習することが多かった地域の伝統や文化については、対象を県内に広げ、文化財や年中行事の中から事例を選択して学習します。



●古くから伝わる県内の芸のう 4年 P.106-107

5年の特色

1 資料や事例が豊富な国土の学習

「わたしたちの国土」の学習では、新学習指導要領の主旨をふまえ、領土に関する学習を充実させています。また、低い土地と高い土地、あたたかい土地と寒い土地など、事例を選択できるようにするとともに、豊富な資料を提示して多様な学習に対応できるようにしています。

堤防に囲まれた土地

5年上 P.22-23

低い土地の暮らし 高い土地の暮らし

山のすそ野に 広がる高原

5年上 P.32-33

多くの島からなる日本

5年上 P.12-13

領土

領土をめぐる問題

5年上 P.14-15

あたたかい土地の暮らし 寒い土地の暮らし

沖縄県の家や暮らしのくふう

5年上 P.48-49

北海道の家や暮らしのくふう

5年上 P.56-57

2 学習の導入の工夫と多様な「まとめる」

導入の例

庄内平野をながめて

5年上 P.76-77

「まとめる」の例

プレゼンテーションソフトを使ってまとめる

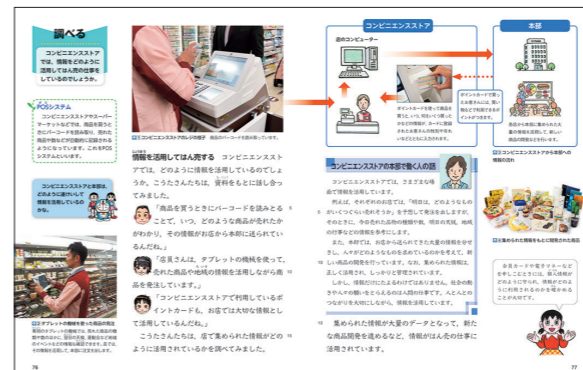
5年上 P.108-109

学習の導入では、掲載する写真資料などを工夫し、児童の関心や学習意欲を喚起できるようにしました。また、学習を「まとめる」場面では、多様な表現活動を提示しました。

3 情報をいかして発展する産業～コンビニエンスストアを事例に

新学習指導要領で新たに示された「情報を生かして発展する産業」については、児童にとって身近なコンビニエンスストアを取り上げました。

販売情報や顧客情報を適切に管理しながら、新商品の開発にいかしたり、情報通信技術を活用したさまざまなサービスを提供したりしていることを調べ、大量の情報や情報通信技術の活用によって、産業が発展する様子を学習できるようにしています。



情報を活用しては販売する

5年下 P.76-77



くらしを支える産業と情報の活用



情報の活用によるサービスの広がり

5年下 P.80-81

4 国土の地形や気候をふまえた自然災害の学習

「自然災害を防ぐ」の学習では、新学習指導要領の主旨をふまえ、国土の地形や気候と自然災害との関連を考えさせるとともに、自然災害の種類ごとに調べる展開としました。

自然災害が多い日本の国土

5年下 P.102-103



風水害への取り組み

5年下 P.108-109

5 背景や人々の協力に着目した公害の学習

「環境を守るわたしたち」の学習では、京都市の鴨川の事例を取り上げ、1950年代後半からの高度経済成長の時期に、全国的に環境が悪化した時代背景や、さまざまな人々の協力をとらえられるようにしています。



豊かな水資源をもつ京都市

5年下 P.124-125



美しい鴨川を取りもどすために

5年下 P.128-129

教科書に登場する主な事例地

社会的事象を学習するために、できるだけ各地の具体的な事例を取り上げるようにし、各学年の内容を学習する上で典型的な事例を選定しました。同時に、各学年の学習を通して次第にわが国の都道府県の構成が理解できるよう、事例地域が特定地方に偏らないように配慮しました。

中国・四国

主事例

- 水はどこから（岡山県岡山市，4年P.34-51）
- 残したいもの 伝えたいもの（愛媛県松山市，宇和島市，新居浜市 4年P.102-113）

副事例

- ▲ 地いきの文化を受けつぐ（島根県松江市，4年P.136-137）
- ▲ 暮らしを支える製鉄業（岡山県倉敷市，5年下P.26-27）
- ▲ 暮らしを支える石油工業（山口県岩国市・和木町，広島県大竹市，5年下P.28-31）
- ▲ 新聞社の働き（広島県広島市，5年下P.70-73）
- ▲ 平和学習の街ヒロシマ（広島県広島市，6年政治・国際編P.22-23）
- ▲ 各地に残る鎌倉時代のエピソード（徳島県三好市，6年歴史編P.55）

コラム、写真

- らっきょうの収穫（鳥取県鳥取市，5年上裏表紙）
- 旧閑谷学校の見学（岡山県備前市，4年表紙）
- 広島県呉市でつくられた船（広島県呉市，5年下P.5）
- パラボラアンテナ（山口県山口市，5年下表紙）
- オリーブの収穫（香川県小豆島町，3年表紙）
- 旧金毘羅大芝居（香川県琴平町，6年歴史編P.92）
- 棚田での田植え（高知県橋原町，5年上P.70）

九州

主事例

- 市の様子（福岡県福岡市，3年P.8-91）
- 水産業のさかなな地域（長崎県長崎市，5年上P.96-109）
- 谷に囲まれた台地に水を引く（熊本県山都町，4年P.114-131）
- あたたかい土地の暮らし（沖縄県，5年上P.48-55）

副事例

- ▲ 地いきの産業をおこす（佐賀県佐賀市，4年P.138-139）
- ▲ 暮らしを支える造船業（長崎県長崎市，5年下P.24-25）
- ▲ 公害をこえて（熊本県水俣市，5年下P.134-137）
- ▲ 日本の医学の進歩にこうけん（宮崎県宮崎市，6年歴史編P.127）
- ▲ 鹿児島県の肉牛の飼育（鹿児島県曾於市，5年上P.113）
- ▲ 江戸時代の琉球と蝦夷地（沖縄県，6年歴史編P.87）
- ▲ 戦争のぎせいになった子どもたち（沖縄県那覇市，6年歴史編P.141）

コラム、写真

- 唐津くんち（佐賀県唐津市，4年裏表紙）
- バイオマス発電（大分県佐伯市，5年下P.44）
- 漁港の見学（鹿児島県枕崎市，5年上表紙）

近畿

主事例

- 環境を守るわたしたち（京都府京都市，5年下P.124-133）
- 市のうつりかわり（兵庫県明石市，3年P.124-141）
- わたしたちの暮らしと日本国憲法（兵庫県尼崎市，6年政治・国際編P.8-21）

副事例

- ▲ 下水のしよりと利用（滋賀県草津市，4年P.74-75）
- ▲ 地いきで学校をつくる（京都府京都市，4年P.132-133）
- ▲ 情報を生かす運輸業（兵庫県姫路市，5年下P.84-85）
- ▲ 情報を生かす観光業（兵庫県豊岡市，5年下P.86-87）
- ▲ 平城宮跡を保存するために（奈良県奈良市，6年歴史編P.35）
- ▲ 地いきの医りようにつくす（和歌山県紀の川市，4年P.134-135）

北海道

主事例

- 寒い土地の暮らし（北海道札幌市，十勝地方，5年上P.56-63）

副事例

- ▲ 江戸時代の琉球と蝦夷地（北海道，6年歴史編P.87）

コラム、写真

- さっぽろ雪まつり（北海道札幌市，5年上表紙）

コラム、写真

- びわ湖疎水船（滋賀県大津市，4年表紙）
- 日本万国博覧会（1970年）（大阪府吹田市，6年歴史編P.149）
- 平城宮跡の見学（奈良県奈良市，6年歴史編表紙）
- 村人を津波から救った濱口梧陵（和歌山県広川町，5年下P.107）

東北

主事例

- わたしたちの生活と森林（青森県鯉ヶ沢町，秋田県大館市，北秋田市，5年下P.112-123）
- すずりをつくるまち（宮城県石巻市雄勝町，4年P.142-149）
- 国際交流に取り組むまち（宮城県仙台市，4年P.150-157）
- 美しい景観を生かすまち（宮城県松島町，4年P.158-165）
- 古いまちなみを生かすまち（宮城県登米市登米町，4年P.166-173）
- 震災復興の願いを実現する政治（宮城県気仙沼市，岩手県陸前高田市，6年政治・国際編P.46-56）
- 米づくりのさかなな地域（山形県庄内平野，5年上P.76-93）

副事例

- ▲ 世界遺産を調べよう（岩手県平泉町，6年歴史編P.42-43）
- ▲ 雪国の人々の暮らし（秋田県横手市，5年上P.64-65）
- ▲ 福島盆地の果物づくり（福島県福島市，5年上P.112）
- ▲ 江戸時代の武士の学校（福島県会津若松市，6年歴史編P.99）
- ▲ 原子力発電所事故からの復興（福島県富岡町ほか，6年政治・国際編P.57）

コラム、写真

- 秋田竿燈まつり（秋田県秋田市，4年表紙）

関東

主事例

- ごみのしよりと利用（栃木県宇都宮市，4年P.56-73）
- 高い土地の暮らし（群馬県嬬恋村，5年上P.32-39）
- 子育て支援の願いを実現する政治（埼玉県川口市，6年政治・国際編P.34-45）
- 事故や事件から暮らしを守る（東京都三鷹市，3年P.108-121）
- これからの工業生産とわたしたち（東京都大田区，5年下P.50-51）
- 情報産業とわたしたちの暮らし（東京都港区，5年下P.58-69）
- 歴史学習の基本をおさえよう（千葉県千葉市，佐倉市，6年歴史編P.2-5）

副事例

- ▲ 風水害から暮らしを守る（茨城県常総市，4年P.96-97）
- ▲ 関東平野のレタスづくり（茨城県坂東市，5年上P.110-111）
- ▲ 各地に残る鎌倉時代のエピソード（東京都町田市，6年歴史編P.55）
- ▲ ほかにもある日本とつながりの深い国を調べよう（東京都江戸川区，群馬県大泉町，6年政治・国際編P.98-99）
- ▲ 日本遺産を調べよう（神奈川県鎌倉市，6年歴史編P.100-101）

コラム、写真

- 足利学校（栃木県足利市，6年歴史編P.61）
- JICA地球ひろばの見学（東京都新宿区，6年政治・国際編表紙）
- 入り鉄砲と出女（神奈川県箱根町，6年歴史編P.80）

中部

副事例

- ▲ 路面電車でまちを活性化（富山県富山市，6年政治・国際編P.60-61）
- ▲ 福井平野の新しい米づくり（福井県福井平野，5年上P.94-95）
- ▲ 火山災害から暮らしを守る（長野県王滝村，4年P.98-99）
- ▲ 山地の人々の暮らし（長野県飯田市，5年上P.40-41）
- ▲ 食料品をつくる工業（静岡県焼津市・静岡市，5年下P.32-35）
- ▲ 「なごや子ども市会」（愛知県名古屋市，6年政治・国際編P.32-33）

コラム、写真

- 洋食器（新潟県燕市，5年下P.49）
- 富士山（山梨県富士河口湖町，5年上表紙）

主事例

- 火事から暮らしを守る（石川県金沢市，3年P.94-107）
- これからの工業生産とわたしたち（福井県鯖江市，石川県輪島市，富山県高岡市，5年下P.48-49）
- 低い土地の暮らし（岐阜県海津市，5年上P.22-31）
- 自然災害から暮らしを守る（静岡県浜松市，4年P.76-95）
- 自動車をつくる工業（愛知県豊田市，5年下P.10-23）

「学習者用デジタル教科書」のご案内

法改正により、紙の教科書と併用で文部科学省が認める学習者用デジタル教科書（紙の教科書と内容が同一であるもの）を使用することが可能になりました。

東京書籍は、2年度用小学校教科書の発行全書目で学習者用デジタル教科書を発行します。

デジタル教科書を紹介するWebページに、こちらからアクセスできます。 https://www.tokyo-shoseki.co.jp/ict/dkyokasho_el/



「新しい社会」学習者用デジタル教科書の主な特徴

ポイント1 複数の教科を一括管理

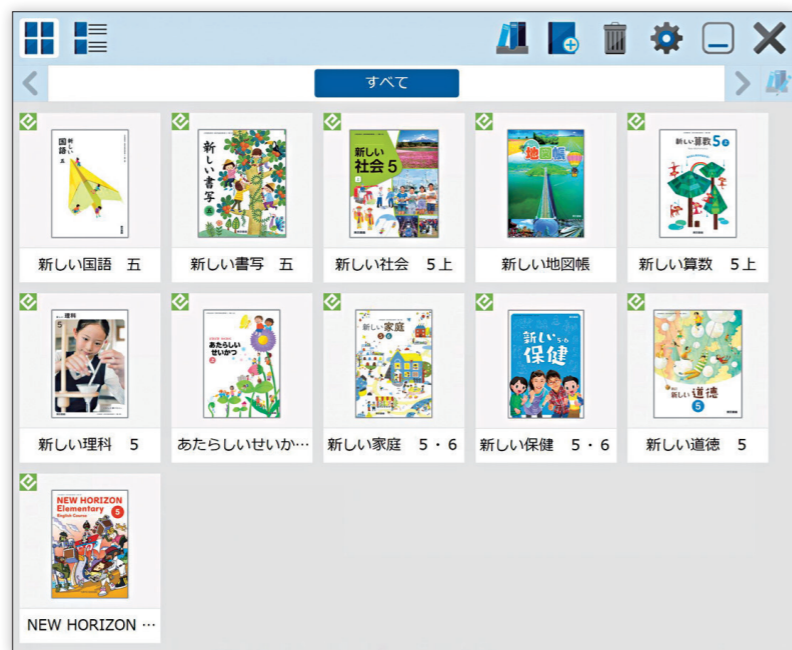
東京書籍をはじめ複数の発行者が採用するビューア「Lentrance Reader」を用いています。さまざまな教科・教材を一つのビューアで管理できます。

ポイント2 学習を支える便利な機能

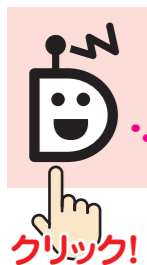
ペンツールでメモを残したり、web上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。自分の学習記録を残すことで、児童一人ひとりの教科書が作れます。また、総ルビ・分かち書きの表示により、外国人児童や帰国児童など日本語の読みが苦手な児童への対応としても有用です。

ポイント3 Dマークコンテンツ

学習者用デジタル教科書では、紙面の「Dマーク」をクリックするだけで、デジタルコンテンツを表示できます。



↑ 複数の教科を一括管理



↑ Dマークがある紙面
(5年上P.82-83)

※Lentrancelは、日本国、米国、およびその他の国における、株式会社Lentranceの登録商標または商標です。

「指導者用デジタル教科書(教材)」のご案内

充実した資料と機能で授業を支援する指導者用デジタル教科書（教材）も発行します。

● 簡単な操作で授業に必要な資料を大きく提示！

写真やイラスト、グラフなど、教科書紙面上の「見せたいところ」をクリックするだけで、画面いっぱいに大きく提示できます。

● どなたでもデジタル教科書を活用できる「指導支援モード」

スライドを送るだけの簡単な操作で、授業の流れに沿って資料を順番に提示できる「指導支援モード」を搭載。

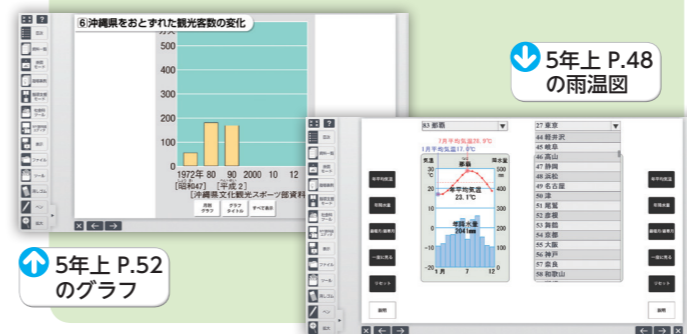
● 教科書の資料でオリジナル教材を作成できる「MY教科書エディタ」

教科書紙面上の写真や図版などを利用して、自由に提示教材を作成できるエディタです。



アニメーション

簡単な操作で効果的に資料を提示できます。グラフや地図で任意の箇所だけ表示したり、一時停止してその先の変化を予想させたりと、さまざまな活用が可能です。



充実した映像資料

教科書に掲載されている「〇〇さんの話」のインタビュー映像など、デジタル教科書のために撮影した映像を多数収録しています。



充実した教師用指導書

『新しい社会 教師用指導書』は、学習指導に最低限必要な情報をコンパクトにまとめた「指導編」（いわゆる朱書編）、指導計画の作成や教材研究に必要な情報をもりこんだ「研究編」、教材研究や授業の準備に役立つコンテンツを収載した「研究編DVD-ROM」の3点セットで、日々の学習指導を強力にサポートします。

| | |
|--------------|---|
| 指導編 | 教科書と同じ判型、同じ表紙の冊子です。教科書の縮刷版を中心に、授業に必要な情報を簡潔に配置しています。 |
| 研究編 | 教育課程や教科書についてのさまざまな情報をもりこんだ「総論編」と、指導・評価計画や時案づくりに役立つ「展開編」の2部構成になっています。「展開編」には、すべての小単元の「知識の構造図」を掲載しています。 |
| 「研究編DVD-ROM」 | 各巻に応じた「指導計画」、Dマークコンテンツ、教科書紙面の総ルビ・分かち書きPDFファイルなど、多様なコンテンツが収載されています。 |

※学習者用デジタル教科書、指導者用デジタル教科書および教師用指導書は開発・企画中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。